

# 水稻「キヌヒカリ」の奨励品種採用

## 1. 試験のねらい

コシヒカリは本県の主力品種であるが、県中・南部における普通植栽培では稈が伸びて倒伏しやすく、収量・品質面でやや不安定である。そこで、県中・南部における水稻の生産安定を図るため、本品種を水稻奨励品種決定調査で検討した。

## 2. 試験の経過

本品種は農林水産省北陸農業試験場において、強稈・良食味・いもち病抵抗性の強化を目標として、昭和50年春に「収2800」(母)×「北陸100号」(父)の交配を行ない、同年夏にこのF<sub>1</sub>を母とし、「北陸96号」を父として3系交配を行った組合せから育成されたものである。58年にF<sub>9</sub>で「北陸122号」の系統名を付し、63年に水稻農林290号として農林登録され、「キヌヒカリ」と命名された。

本県においては、昭和58年に配布を受け奨励品種決定基本調査で検討し、一時中断ののち、平成2年より調査を再開するとともに、現地調査等で各種特性、地域適応性を検討した結果、成績が良好であったので、平成3年度に奨励品種に採用された。

## 3. 特性概要

- (1) 出穂期はコシヒカリより1日早～同期で、成熟期は2日遅い、中生の早である。
- (2) 稈長はコシヒカリより15cm程度短く、穂長も短く粒着はやや密で、穂数はやや少ない。
- (3) 最高分けつ期の草丈はコシヒカリより低く、葉色はコシヒカリ並でやや濃い。
- (4) 耐倒伏性はコシヒカリよりかなり強く、中程度である。
- (5) いもち病圃場抵抗性はコシヒカリより強く、葉・穂いもち病ともに中程度である。
- (6) 穂発芽性はやや易に分類され、コシヒカリより穂発芽しやすい。
- (7) 収量はコシヒカリよりやや低収～同程度で、晩植では多収である。
- (8) 玄米の粒形・粒大はコシヒカリ並の中で、玄米千粒重はコシヒカリ並～やや重い。
- (9) 外観の品質はコシヒカリよりやや劣る。
- (10) 食味官能評価は炊き上がりの外観優れ、初星より良好である。

## 4. 普及地帯および栽培上の留意点

- (1) 県中・南部の普通植栽培及び、一部の早植栽培に適する。普及見込み面積は3,500ha。
- (2) 耐倒伏性は中程度で、やや短穂密粒なので、極端な基肥窒素の多施用は避け、やや早目に穂肥を施用する。
- (3) 穂発芽し易く刈り遅れると急激な玄米品質の低下を招く恐れがあるので、帯緑色収率10～15%を目安に適期刈りに努める。

## 5. 成果の要約

県中・南部における水稻の生産安定を図るため、倒伏に強く、食味が良好な「キヌヒカリ」を奨励品種に採用した。

(担当者 育種部 小島 隆)

表-1 農業試験場における成績

	品 種 名	出穂期 月. 日	成熟期 月. 日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 /m <sup>2</sup>	倒伏 程度	玄米重 kg/a	同左 比 %	玄米千 粒重 g	外観 品質
早 植	キヌヒカリ	8. 4	9.20	80	17.8	398	0.4	51.7	96	21.2	4.1
	コシヒカリ	8. 5	9.18	95	19.1	407	3.2	53.6	100	21.1	2.8
	アキニシキ	8.11	9.24	91	19.6	405	1.2	53.6	100	20.7	2.3
晩 植	キヌヒカリ	8.24	10.16	87	17.0	355	1.1	52.7	118	21.7	5.7
	コシヒカリ	8.25	10.17	104	17.8	368	4.4	44.7	100	21.2	4.9
	アキニシキ	8.30	10.21	94	18.5	367	1.0	53.4	119	21.2	3.4

注 1) 早植：5月9日移植。昭和58, 59, 平成2, 3年の4か年平均。  
 晩植：6月20日移植。昭和59, 平成2, 3年の3か年平均。  
 2) 倒伏程度は、0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚。  
 3) 外観品質は、1(上上)~9(下下)。

表-2 特性検定

品 種 名	葉いもち	穂いもち	耐倒伏性	穂発芽性	耐冷性	食味
キヌヒカリ	中	中	中	やや易	弱	上上
コシヒカリ	弱	弱	弱	難	強	上上
アキニシキ	やや弱	やや弱	やや強	やや易	-	上下

注 1) いもち病は、烏山いもち病検定試験圃場成績で菌系は037。  
 2) 耐冷性は、平成3年黒磯分場冷水かけ流し耐冷性検定圃場成績。

表-3 コシヒカリに対する収量比較

現地名	移植期	収量比
那 須 町	5.10	90
黒 磯 分 場	5.10	99
今 市 市	5. 4	91
大 田 原 市	5.11	107
矢 板 市	5. 7	105
高 根 沢 町	5.12	91
烏 山 町	5.13	118
宇 都 宮 (農 試)	5. 9	96
芳 賀 町	5.22	99
真 岡 市	5.17	113
小 山 市	5. 9	98
上 河 内 村	6. 9	115
西 方 村	6.18	99
栃 木 市	6.17	106
佐 野 市	6.23	117
足 利 市	6.20	127

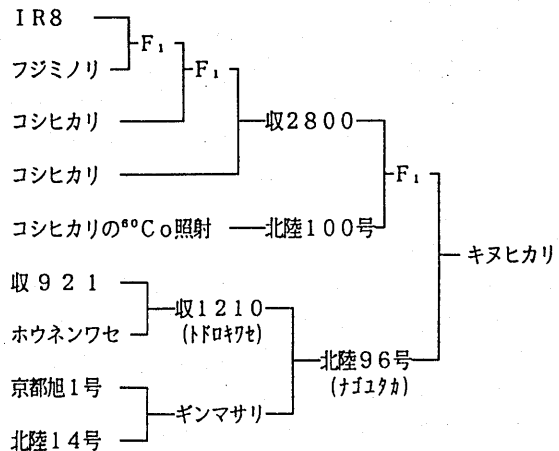


図-1 キヌヒカリの系譜図

注. 平成2, 3年の2か年の平均。  
 宇都宮(農試)は4か年の平均。